週報 W RAPID *Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease*

青森県感染症発生情報　（2008年第40週）

発行　青森県感染症情報センター（2008年10月10日）
（青森県環境保健センター：担当　微生物部）
TEL　017-736-5411、FAX　017-736-5419
青森県環境保健センターホームページ
http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

Ⅰ　第40週の発生動向（2008/9/29～2008/10/5）

1. **咽頭結膜熱については**、むつ保健所管内では、2007年第48週から**警報**が続いています。（注：警報開始基準は2人/定点、終息基準値は0.1人/定点です）。
2. **手足口病については**、上十三保健所管内において、第37週から**警報**が続いています。

Ⅱ　第40週五類感染症定点把握

注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市 数	東地方+青森市 定点	弘前 数	弘前 定点	八戸 数	八戸 定点	五所川原 数	五所川原 定点	上十三 数	上十三 定点	むつ 数	むつ 定点	青森県計 数	青森県計 定点	増減数（前週からの増減）	東地方(再掲) 数	東地方(再掲) 定点	青森市（再掲） 数	青森市（再掲） 定点
(85) インフルエンザ															0				
(74) RSウイルス感染症			12	1.33	3	0.33	4	0.80	1	0.17			20	0.48	6				
(75) 咽頭結膜熱	2	0.22							2	0.33	5	1.25	9	0.21	-2			2	0.25
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.11	18	2.00	1	0.11	5	1.00	3	0.50	2	0.50	30	0.71	10			1	0.13
(77) 感染性胃腸炎	20	2.22	1	0.11	4	0.44	5	1.00	4	0.67	17	4.25	51	1.21	1	4	4.00	16	2.00
(78) 水痘	3	0.33	3	0.33			6	1.20	1	0.17	2	0.50	15	0.36	-5			3	0.38
(79) 手足口病	7	0.78	10	1.11	11	1.22	13	2.60	25	4.17	2	0.50	68	1.62	-6	6	6.00	1	0.13
(80) 伝染性紅斑															-1				
(81) 突発性発しん	5	0.56	4	0.44	1	0.11	2	0.40	6	1.00	3	0.75	21	0.50	-1			5	0.63
(82) 百日咳															0				
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																		
(83) ヘルパンギーナ	18	2.00	5	0.56	3	0.33	3	0.60	1	0.17	3	0.75	33	0.79	-7			18	2.25
(73) 麻しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。																		
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.11	2	0.22	1	0.11					1	0.25	5	0.12	-2			1	0.13
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50	1	0.33	4	2.00							8	0.73	-3			3	1.50
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.00	1	1.00					2	2.00	5	0.83	2				

定点数

保健所名	インフルエンザ（内科＋小児科）	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

■ は警報　　□ は注意報　　「空欄」：患者発生数0

Ⅲ　表Ⅱ以外の感染症法対象疾患

（注：届出数は**速報値**です）

（9）結核（二類全数把握疾患）：弘前5人、八戸3人、五所川原1人、上十三3人、青森市2人　　（20年計：380人）

感染症の窓　後天性免疫不全症候群

図　2007年における新規HIV感染者推計総数
（統計データ WHO）

表　青森県における届出数（2004年-2008年）

2008年（40週現在）	4人（死亡1人含む）
2007年	4人
2006年	6人
2005年	9人
2004年	4人

本疾患の治療については、多剤併用療法の導入等により死亡率が減少していますが、2007年、世界では、約250万人が新たにHIVに感染し、約210万人がエイズ（AIDS）関連疾患で死亡しています（図）。

国内においても、2007年までの国内のHIV感染者（感染しているが、発症していない）及びエイズ患者数は、年々**増加傾向**にあります。青森県では、本年、7月上旬、本疾患による死亡の報告がありました（表）。本疾患は、発症前治療の開始が重要であることから、早期発見のため**積極的に検査を受けることをお勧めします**。現在、各保健所では、無料検査を実施しているほか、エイズに関する相談も受け付けています。希望される方は、まずは、お電話で最寄りの保健所にお問い合わせください。

関連サイト：エイズ検査受診の呼びかけについて☞http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/11548.html